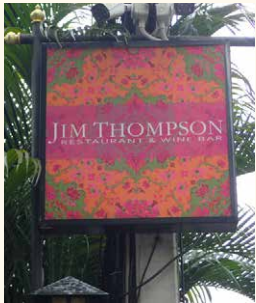


ジム Thompson・ハウスで優雅なランチを (A、Bコース共通プログラム)

アメリカ人建築家であり、実業家であったジム Thompson。「タイシルク」を世界的な高級ブランドに押し上げた彼の生前の邸宅は6棟から成り、今は博物館として公開されています。チーク材を用いた伝統的な建築や古美術コレクションなど、館内ガイドツアーと本格タイ料理レストランでの優雅なひとときを、ゆっくりとお楽しみください。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエグゼクティブクラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合は基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。)&サービス料金
 - ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
 - ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
 - ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
 - ⑧ 団体行動時の必要心付け
 - ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、同通税、同空港利用料
 - ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

- 上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
 - (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
 - (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
 - (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
 - (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
 - (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- (1) 部屋割りには、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

- (2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えきてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
■お食事：朝＝朝食(原則としてホテルでの朝食をご用意しておりますが、ツアー行程の関係で簡素なボックスブレイクファースト等となる場合もございます) 昼＝昼食 タ＝夕食(軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます) 機＝機内食 □＝食事なし
■乗り物：➡＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを挿んでいただけよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、およその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを挿んでいたためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて

旅行契約が成立した後(以下)の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によりします。

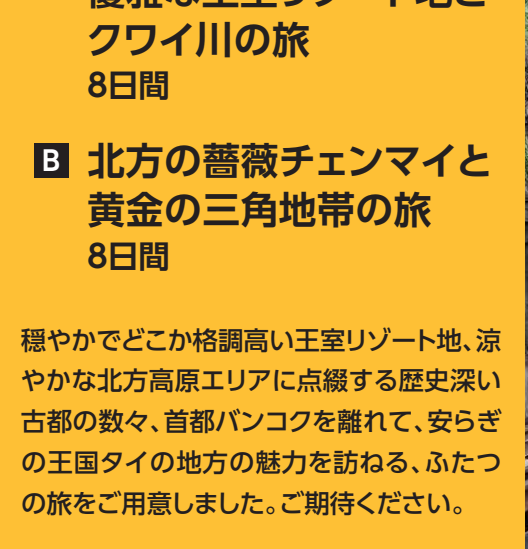
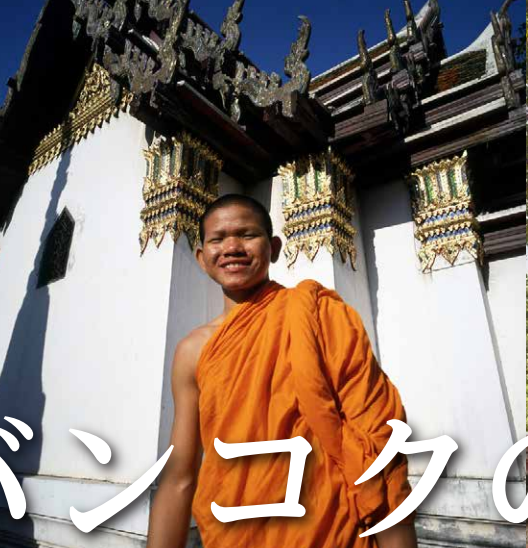
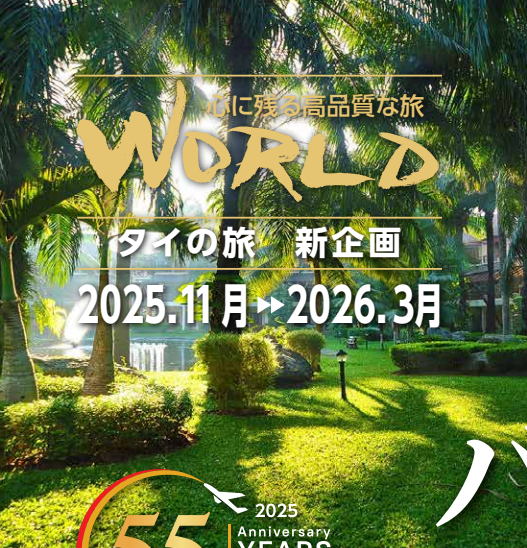
<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合で、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までに解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金 が25万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までに解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金 が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

- (注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内にお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。
(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。
(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2025年6月1日現在の運賃・料金を基準としております。



旅行企画・実施

ワールド航空サービス

WEBもどうぞ

ワールド航空

検索

https://www.wastours.jp

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)

ボンド保証会員

旅行業公正取引協議会会員

東京支店 TEL: 03-3501-4111

大阪支店 TEL: 06-6343-0111

名古屋支店 TEL: 052-252-2110

九州支店 TEL: 092-473-0111

札幌支店 TEL: 011-232-9111

湘南支店 TEL: 0466-27-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

神奈川県横浜市緑区484-1 藤沢アンパルビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。

(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

タイのイメージ(3頭の象) ©タイ国政府観光庁

バンコクのその先へ

微笑みの王国タイをもっと深く知る新企画

新企画の発表にあたって

東南アジアを代表するタイ王国。コロナ禍後、日本からの訪問者数は回復しているとはいえ、そのほとんどが残念ながら首都バンコクと一部のビーチや島のマリンリゾートにほぼ限られているのが実状です。本年5月の「タイフェスティバル 東京」に来日されたタイ国政府観光庁の総裁女史も、日本からの訪問客の回復への感謝と共に、タイ地方部への訪問を強く呼びかけ、熱望しておりました。

「タイ」は1939年から

日本の1・4倍という国土を持つタイですが、「タイ」という名称は、実はわずか80年ほど前の1939年からで、それまではシャム(サイアム)と呼ばれていました。

このシャムと日本との関わりは古く、なかでも特筆されるのは、何といっても江戸初期、徳川家康が將軍職を第二代秀忠に譲った1610年頃に、朱印船に乗り込んで海を渡り、シャムで大活躍した山田長政でしょう。後には、シャム南部(今のマレー半島中部)の小国の国王にまで栄達した(諸説あります)ともいわれていますが、その時代背景や生涯があまりにドラマチックなので、左ページにコラムとして「山田長政小傳」を一部引用して紹介させていただきました。約400年前の日本とシャムの、現代以上に緊密な関係には、あらためて驚きを禁じ得ません。

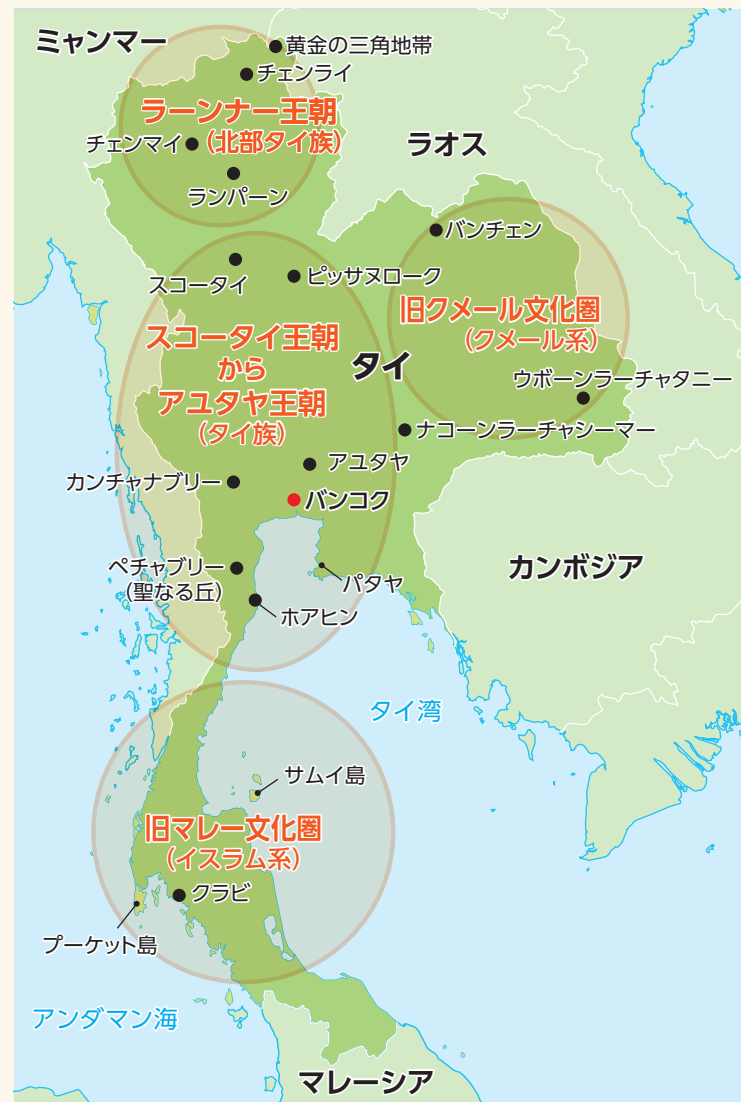
スコートタイ王国からアユタヤ王国へ

13世紀、タイ族初の統一国家が成立。独自のスコートタイ(=幸福の夜明け)王国を築き、クメール文字を改良したタイ文字を考案するなど、文化と社会基盤を整備。この頃、タイ北部の山岳地帯に同族の土候によってチェンマイを都として建設されたラーンナー王朝と同盟を結びつつ、周辺小国家を支配下に置きます。しかし次第に衰退して、逆に1378年にはアユタヤの属国となり、都としての輝かしい歴史の幕を閉じてゆきました。代わって主役に躍り出たアユタヤ王国は、18世紀に至る400年以上の歴史を刻みますが、たび重なるビルマとの戦いによって1767年に陥落。多くの建造物が破壊され、今は王宮跡や寺院跡などが栄枯盛衰を偲ばせます。

西からはビルマの侵攻、東北部のクメール、南からはマレーイスラム系、そして近代においては列強の圧力を受けながらも、タイ王国はしなやかに、穏やかに、そして強靱に、仏教(タイの国教。95パーセントが仏教信徒)の力も活かしながら、これらを取り込み、あるいは跳ね返して、東南アジアにおいて最も安定した大国を築き上げたのです。

まだ見ぬバンコクのその先へ

このたびの2コースは、タイ王国を深く知る新企画としてお創りしましたが、弊社の添乗スタッフに加え、現地日本語ガイドも同行して2人体制で丁寧にご案内して参ります。11月下旬~3月上旬のベストといわれる、ほぼ雨のない快適な乾季の旅。このご機会に、新しいタイの旅をご検討いただければ幸いです。



月平均気温／平均降水量 (気象庁 HP「世界の天候」より)

	チェンマイ	バンコク	東京
12月	22.3℃／10.0 mm	27.4℃／13.5 mm	7.7℃／57.9 mm
1月	22.3℃／11.3 mm	27.6℃／24.2 mm	5.4℃／59.7 mm
2月	24.4℃／10.3 mm	28.7℃／19.4 mm	6.1℃／56.5 mm



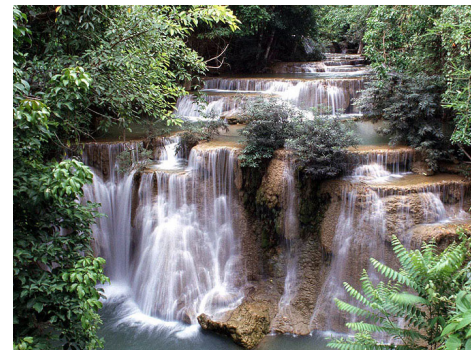
フェリックス・リバー・クワイ・リゾートホテル周辺からのクワイ川鉄橋の眺め



チェンマイで最も格式高いワット・プラ・シン(1345年建立)



聖なる宮殿が建つ「カオ・ワンの丘」(ペッチャブリー)



サイヨーク国立公園のサイヨークノイ滝(イメージ)



世界遺産「スコートタイ歴史公園」



ホアヒン駅の王室の待合室

長政に想いを馳せながら旅するタイ王国 スペイン艦隊をも退けた「あばれん坊 長政」、アユタヤに在り

日本とシャム(暹羅。1939年に「タイ」に改める)との関係を歴史的観点から眺める時に、山田長政を抜きには語れません。1603年に江戸幕府を開き、その後、將軍職を第二代秀忠に譲った家康でしたが、1607年に大御所として若き日を過ごした駿府城に戻り、在城しながら外交政策の中枢となり、海外貿易のための朱印状は江戸ではなく、ここ駿府城から発行されていました。家康と共に駿府に移住した家臣団は優秀で、なかでも儒学者、林羅山は、家康から四代にわたり將軍のブレーンを務めています。

1590年、この駿府(静岡)の馬場町(諸説あり)に生まれた山田長政。少年から青年へと成長するこの時期の駿府には、家康の元、海外雄飛の気運が高く、1612年、22歳の長政が貿易船に便乗して台湾を経由してシャムへと渡海した心情もよく理解できます。

子供の時分からよく學問を好む反面、大変乱暴でもあり、成長するに体躯も堂々たる人物であったとされますが、長政のシャムでの消息が判明したのは、ようやく昭和初期になってからで、ハーグ(オランダ)の公文書館からの「シャム革命史話」という書物に長政のシャムでの詳細が記されていました。

当時のシャムはアユタヤ王朝の時代。東南アジア交易網の重要拠点



アユタヤ王宮跡の三基の仏塔

で、各国の商船が風待ちをする国際都市。アユタヤ南東には、外国の商人、船員たちが外国人町をつくり、日本人町も最盛期には3000人とも8000人ともいわれる邦人が在住し

ていた、といいます。

ここで武士でもあった長政は、国王の傭兵として日本人義勇軍を指揮、頭角を現してきました。特に、スペイン艦隊の二度にわたるアユタヤ侵攻をいずれも退けた功績は大いに国王の信頼を受け、王の近衛兵として重用されました。

さらに、長政の地位を決定的にしたのが、何より貿易商人としての飛び抜けた才覚でした。各国の商人たちが入り乱れ、しのぎを削る国際都市アユタヤで熾烈な経済戦争に勝ち続け、日本とシャムはもちろん、マラッカやパタビア(インドネシア)などとも盛んに交易を行い、当時世界最大の交易企業、東インド会社も諦めさせ、アユタヤから撤退させてしまいます。

1628年(長政38歳)。アユタヤ王室はついに最上位の官位「オークヤー」を長政に与え、「オークヤー・セーナピモック(軍神)」と呼ばれるようになります。翌1629年には、長政の仲介により、シャム使節が三代將軍家光に謁見するなど、日シャの交流は益々盛んになってゆきました。

しかし一方、アユタヤ王室に余りに強い影響力を持ちすぎた長政は、次第に疎まれるようになり、アユタヤから遠い南の小国リゴールの国王に任ぜられ、隣接するイスラム勢力のパタニ王国(マレー半島北部)との戦闘中に、毒によって命を落とすことになります。1630年、長政享年40歳の若さでした。

1633年。家光の治世、日本にはあの林羅山の起草によって第一次鎖国令がひかれ、幕末(1854年。ペリー来航)まで200年余りの長きに亘って、日本と世界の交流、国際貿易は、稀代の経済人、山田長政の死と共に途絶えるに至ったのでした。

(静岡浅間通り商店街「山田長政小傳」より一部抜粋) ※アユタヤへはBコースで訪れます。



山田長政像(アユタヤ)

王室御用達リゾート地でのゆったり時間に癒されて

海と森で寛ぐ 優雅な王室リゾート地とクワイ川の旅 8日間

ツアープランナーより

ホアヒン(石の頭)。その名の通り、岩が多いビーチは、ジェットボートなどは禁じられていて、パタヤやプーケットのような若者やファミリーが押し寄せるビーチリゾートとは随分違う雰囲気。それは、1910年代から王族の別荘地として発展し、ビーチ沿いや丘の上にロイヤルパレスが点在する格式高い場所だからでしょう。ホアヒンの北、ペッチャブリーのカオワン(丘)には、19世紀、ラーマ4世の建てた離宮や仏塔が、今は一部が博物館として公開され、ハイライトスポットになっています。ここからの街と海の美しい眺めも素晴らしいものです。旅の前半は、クワイ川に面したヤシ林に佇むホテルに泊まりながら、近郊の森の国立公園の自然美、そして、名画「戦場にかける橋」(1957年)の舞台、泰緬鉄道に乗車してのプログラムを、ホテルライフと共にゆったり楽しみます。目に前に、あの有名な「クワイ川鉄橋」が広がる絶好立地のリゾートホテルを選びました。フィナーレは、ジムトンプソン・ハウス(バンコク)での本格的なタイ料理で締めくくります。



クウェー（クワイ）ノイ川に沿って断崖絶壁に架けられた木造高架橋「アルヒル栈道橋」（イメージ）



アカデミー賞受賞の往年の名画「戦場にかける橋」(1957年)の舞台、歴史的遺産「クワイ川鉄橋」を渡ります。



サイヨーク国立公園のサイヨークノイ滝(イメージ)



ワット・タムスア寺院 (カンチャナブリー)



カオワンの丘(ペッチャブリー)は「聖なる丘」と呼ばれるハイライト。ケーブルカーで上がります



ドイツ様式で建てられたバーンブン宮殿



イタリア人建築家が設計した高床式のマルカッターイヤワン宮殿



集合・日数 出発日	旅行代金	
【羽田空港集合・8日間】 11月24日(月), 2月2日(月)	エコノミークラス利用 ¥365,000	ビジネスクラス利用 ¥645,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金 ¥60,000 にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：羽田空港～バンコク間往復		
燃油サーチャージ別途目安：¥31,000：6月1日現在		

日本各地から日本航空にて片道¥8,000の追加料金で成田・羽田へ

航空会社の指定および便の指定はできません。その他、付帯条件がございますので、詳しくはお問い合わせください。
※羽田～成田空港間のリムジンバス代金はお客様ご負担となります。

訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
(日本各地空港より) 羽田空港11:25発→ バンコク16:20着 機中 カンチャナブリー 20:30着	(日本航空国内線にて羽田空港へ。) 羽田空港より、 日本航空直行便 にてバンコクへ。 着後、バスにてタイ西部に位置する、雄大な自然と歴史が融合した カンチャナブリー へ。 [3連泊] (カンチャナブリー) 機中夕	
カンチャナブリー (ワット・タムスア寺院、 泰緬鉄道博物館)	午前、周囲360度の景観が丘上の 大寺院●ワット・タムスア を訪ねます。その後、泰緬(タイ・ビルマ)鉄道の歴史を紹介する ●泰緬鉄道博物館 を参観。 午後は、クワイ川に面したヤシの林に佇むホテルにてゆっくりお寛ぎください。 (カンチャナブリー泊) 朝 昼 夕	
カンチャナブリー 08:00発→ カンチャナブリー 駅 10:30発 機中 (クワイ川鉄橋、 アルヒル棧道橋) 機中 タム・クラサー 駅 11:36着 機中 (サイヨークノイ滝) 機中 カンチャナブリー 16:30着	午前、●アートギャラリーを参観。その後、カンチャナブリー駅より、「 泰緬(タイ・ビルマ)鉄道 」に乗車し、タム・クラサー駅へ。名画「 戦場にかける橋(1957年)の舞台「クワイ(クウェー)川鉄橋 」を渡り、さらに クワイ(クウェー)ノイ川 の断崖絶壁に架かる絶景の 木造高架橋「アルヒル棧道橋」 をゆっくり渡ります。(注1) その後、バスにてサイヨークノイ国立公園の○ サイヨークノイ滝 を訪ねます。 夕刻、カンチャナブリーに戻ります。 (カンチャナブリー泊) 朝 昼 夕	
カンチャナブリー 09:00発 機中 ペッチャブリー (王室 ゆかりの聖なる丘) 機中 ホアヒン 17:00着	午前、バスにて南下し、 ペッチャブリー へ。 着後、 ケーブルカー にて、聖なる 「カオ・ワンの丘」、プラナコーンキリ国立歴史公園 を訪れ、王室にまつわる 7つの建物群と仏塔 を巡ります。 その後、ドイツ様式の ●バーンブン離宮 に立ち寄り、 歴史あるタイ王室の避暑地ホアヒン へ。 [3連泊] (ホアヒン泊) 朝 昼 夕	
ホアヒン (マルカッターイヤワン宮殿、 モンスーンパレー ・ワイナリー)	午前、近郊の ●マルカッターイヤワン宮殿 を参観。1924年、イタリア人建築家が設計した、エレガントな高床式の夏の離宮です。 昼食は、広大なブドウ畑が広がる、「 モンスーンパレー・ワイナリー 」にてご用意しました。 (ホアヒン泊) 朝 昼 夕	
ホアヒン	終日、自由行動。ホアヒンにて、ごゆっくりお過ごしください。ご希望の方は、添乗員が専用バスにて風格ある王室専用待合室のあるホアヒン駅や、町の中心部へご案内します。リゾートホテルで過ごすホテルライフなども楽しみです。 (ホアヒン泊) 朝 昼 夕	
ホアヒン 09:00発 機中 バンコク 13:00着 (ジムトンプソンの家)	午前、バスにてバンコクへ。 昼食は、かつての タイシルク王の邸宅「ジムトンプソンの家」 にて、本格的なタイ料理を愉しみます。 午後、 ●ジムトンプソンの邸宅(博物館) を参観し、その後、自由行動。 夕刻、バスにてバンコク空港へ。 夜、バンコクより 日本航空直行便 にて、帰国の途へ。 (機中泊) 朝 昼 機中	
バンコク 22:05発→		
羽田空港 05:40着 (日本各地空港へ)	朝、羽田空港に到着後、解散。 (日本航空国内線にて各地へ。)	機中

(注1)鉄道の発着時刻は変更となる場合があります。
※お食事に際して、軽めのお食前からしっかりとコース料理、buffet、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご注意ください。また、ツアー行程の関係で簡単なボックススタイル等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食5回、夕食6回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します ■パスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

ジムトンプソン・ハウス Jim Thompson House



品のコレクションが素晴らしい

ノスタルジックな古都の郷愁と地方に暮らす人々の笑顔に心沸き立つ
北方の薔薇チェンマイと「黄金の三角地帯」の旅 8日間

ツアープランナーより

どこか京都に似ている「北方の薔薇」チェンマイ。タイ北部の山岳地帯に1939年迄、613年の長きに亘り、ラーンナータイ王朝の王都として君臨した街。四方を堀に囲まれた旧市街を歩けば、幾つもの寺院、古建築、そして博物館、工芸品のブティックやお洒落なカフェなど、今昔の様々な文化の薫りと出会えます。さらに北の古都チェンライからは、かつてはケシ栽培を主産業としていたラオス、ミャンマー、タイの三国の国境「黄金の三角地帯」で、雄大な大メコンの流れに身を任せ、タイ王国の歴史の主舞台であったスコータイ、アユタヤでは、栄枯盛衰を偲びましょう。各地の快適なホテル滞在、そして地方独自の郷土料理や、バンコクではジムトンブソン・ハウスでの本格的なタイ料理に舌鼓。ノスタルジックな歴史深い街々の郷愁に浸りながら、同時に現代タイのローカルに暮らす人々の笑顔に心沸き立つ、そんな深みのある旅を目指してお創りしました。



タイの源流となる史跡が点在する世界遺産「スコータイ歴史公園」



凛として橙色の衣をまとった少年僧（イメージ）



チェンマイを代表する古刹ワット・プラシン寺院



手前がタイ、右手メコン川の対岸がラオス、左手ルアック川の対岸がミャンマー



ワット・プラケオ（チェンライ）



チェンマイのダラピロム宮殿博物館



ランパーンの伝統的な花馬車



タイ北部の心を表す伝統的なおもてなし料理「カントーク」（イメージ）

■ ご宿泊
ホテル

■ アユタヤ：
カンタリー・ホテル・アユタヤ

■ ランパーン：
ランパーン・リバー・ロッジ

■ チェンマイ：
センタラ・リバーサイド・ホテル・チェンマイ

■ ビッサヌローク：
トップランド・ホテル

■ チェンライ：
ウィアン・イン・ホテル

※シャワーのみとなります。

※バス付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食5回、夕食6回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。1/26発は、新千歳空港ご出発から新千歳空港ご到着まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

利用予定航空会社：日本航空		ツアーコード：SC142T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田空港集合・8日間】 12月1日(月)、1月26日(月)		エコノミークラス利用 ¥358,000	ビジネスクラス利用 ¥638,000
【新千歳空港集合・8日間】 1月26日(月)		エコノミークラス利用 ¥374,000	ビジネスクラス利用 ¥654,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥50,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：羽田空港～バンコク間往復			
燃油サーチャージ別途目安：¥32,100：6月1日現在			

日本各地から日本航空にて片道¥8,000の追加料金で成田・羽田へ
航空会社の指定および便の指定はできません。その他、付帯条件がございますので、詳しくはお問い合わせください。
※羽田～成田空港間のリムジンバス代金はお客様ご負担となります。

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	(日本各地空港より) 羽田空港11:25発→バンコク16:20着 アユタヤ19:00着	(日本航空国内線にて羽田空港へ。) 羽田空港より、日本航空直行便にてバンコクへ。 着後、バスにて北上し、シャム王国の旧都アユタヤへ。(アユタヤ泊) 機夕	
2	アユタヤ08:30発→アラング・ナイフ村→アーントーン	午前、アユタヤ王朝時代に建立の王室守護寺院を参観。その後、鍛冶屋、金銀細工職人の故郷として長い歴史を持つアラング・ナイフ村、アーントーンの高床式木造建築を訪ね、伝統工芸のタイ人形作りを見学。 午後、ピッサヌロークへ。(ピッサヌローク泊) 朝昼夕	
3	ピッサヌローク16:30着 ピッサヌローク09:30発→スコータイ	午前、シャム王国最初の都スコータイへ。国王都遺跡○スコータイ歴史公園を見学します。 午後、陶器の里ランパーンへ。●陶器工房の見学、ランパーン名物の伝統花電車乗車体験も楽しみください。(ランパーン泊) 朝昼夕	
4	ランパーン08:00発→パヤオ湖 チェンライ13:00着	早朝、地元寺院を訪ね、人々が僧侶に食べものを寄進して祝福を受ける「功德」の様子を見学します。 午前、13世紀ラーンナー王国の都チェンライへ。途中、絵のように美しいパヤオ湖に立ち寄ります。午後、古都チェンライの観光。旧市街を散策し、エメラルド仏の故郷●ワット・プラケオ、14世紀創建の●ワット・プラシンを参観します。(チェンライ泊) 朝昼夕	
5	チェンライ14:00発→チェンマイ18:00着 【伝統カントークディナー】	朝、タイ、ミャンマー、ラオス三国の国境が交差する「黄金の三角地帯(ゴールデントライアングル)」へ。雄大な自然景観に抱かれたメコン川のショートクルーズ(45分)にて国境交差ポイントを訪ね、その後、バスにてラオス国境に近い河畔の町チェンセーンに立ち寄ります。 午後、13世紀末より500年にわたりラーンナー王国の都として君臨した古都チェンマイへ。 夕食は、優雅なラーンナー舞踊を楽しみながら、伝統カントーク料理をご用意しました。(2連泊)(チェンマイ泊) 朝昼夕	
6	チェンマイ(サタデーマーケット)	午前、色鮮やかな花苑が広がる○オーキッドファームを訪問。その後、かつての王妃の邸宅を利用した●ダラピロム宮殿博物館(チュラロンコーン大学)を参観します。 午後は自由行動。古い寺院などが残る、堀に囲まれた旧市街の散策をお楽しみください。毎週土曜日の夕刻からは賑やかなサタデーマーケットが開催されます。(チェンマイ泊) 朝○夕	
7	チェンマイ午前発→バンコク午前着 (ジムトンブソンの家) バンコク22:05発→	午前、国内線にてバンコクへ。 昼食は、かつてのタイシルク王の邸宅「ジムトンブソンの家」にて、モダンなタイ料理を愉しみます。 午後、●ジムトンブソンの邸宅(博物館)を参観し、その後、自由行動。夕刻、バスにてバンコク空港へ。 夜、バンコクより日本航空直行便にて、帰国の途へ。(機中泊) 朝昼機	
8	羽田空港05:40着 (日本各地空港へ)	羽田空港に到着後、解散。(日本航空国内線にて各地へ。) 機○○	

※お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等の食事となる場合がございます。

新千歳発着	往路：1日目 新千歳 07:45 発 → 羽田 09:25 着 羽田 11:25 発 →
	復路：8日目 羽田 05:40 着 → 羽田 08:55 発 → 新千歳 10:30 着

ジムトンブソン・ハウス Jim Thompson House

「シルク王」ジムの邸宅として建築そのものと美術品、骨董品のコレクションが素晴らしい